



クーラーの話

梅雨あけが待たれる今日この頃です。長期予報を見ますと、今週ずっと曇りや雨のマークが続いています。梅雨が過ぎにくいのは湿度のせいで、気温が高いからというわけではありません。温度と湿度のバランスで、人は快適か不快かを感じます。心地よいと感じる組み合わせは「夏は高温・低湿」で「冬は低温・多湿」とされています。さいわい、常陽中学校には各教室にクーラーが設置されており、恵まれた環境です。では、暑ければいつでもクーラーのスイッチを入れたらよいのかといたしますと、そうはいきません。関西地方は電力を原子力発電所に多く頼っていました。原子力発電を使わないと、この夏、電力がパンクしてしまうと予想されています。そこで、計画停電といって強制的に電気を使わないようにする計画もあるくらいです。少くく暑いからといって、クーラーをガンガンかけていると、電気消費量は増え続けてしまいます。ちょっとした工夫とちょっとした我慢で電力消費を控えさせることが求められています。

暑さ対策いろいろ

一階の事務室の前に校務員さんが朝顔を植えてくれます。西日が当たる事務室は暑いのですが朝顔のおかげで、午後の暑さは少しましになります。

また、夏はハンカチだけでなく、タオルを使うといいですよ。少くく汗をかいてもタオルで顔をふけば爽快です。



尼崎市立学校節電対策

尼崎市の全ての学校では、夏休み期間中の8月11日から17日までの間、基本的に学校を閉める予定です。この間、原則としてクラブもありません。全ての幼稚園・小学校・中学校・市立高等学校でも同様です。もちろん学校だけがいくら省エネをしても、それ以上に家庭でどんどん電気を使ったら、何のための節電対策かわかりません。家庭でもご協力をお願いします。

★お箸の話

昼食時の話です。ある男子生徒がお弁当を食べようとすると、お箸が入っていませんでした。

その日、家に帰った生徒は腹を立てて言いました。

「お母さん、今日、弁当のお箸が入っていませんでした。」

「あつ、そう。それであんな、どうしたの?」「削って

ないさらの鉛筆を二本持ってたから、それで食べた」

それを聞いていたお父さん「そいつあ素晴らしい。お

い、これから毎日、筆箱の中にさらの鉛筆を二本は

入れておけよ」お箸を忘れて仕方なく鉛筆でお弁

当を食べた生徒と、息子のクレームを見事に切り返した両親、どちらもなかなか

やるなあ。